

中国語の“怎么”の意味区分と構文上の 特徴について

劉 素 英

A Study on the Semantic Classification and Structural Feature of Adverb “*Zenme*” in Chinese

LIU Suying

提要：表示方法的“怎么”和表示原因的“怎么”在语义和句式结构上有着明显的不同。表示方法的“怎么”是针对某一既定行为的方式或方法进行提问的，而表示原因的“怎么”则是针对某一既定行为本身提出疑问的。表示方法的“怎么”反映了施事的主观因素，表示原因的“怎么”则既可反映施事的主观动机，也可以反映客观因素，因此对动作行为或性质状态都能设问。

表示方法的“怎么”在句中的位置比较固定，除了使用“对，把”等表示对象的介词短语时以外，一般只能放在谓语动词前，而且充当谓语的动词多为单个动词。表示原因的“怎么”在句中的位置则比较自由，既可放在主语后，也可以放在主语前。另外，与助动词，副词等并用时，表示方法的“怎么”通常放在这类词后面，而表示原因的“怎么”则放在前面。

0. はじめに

中国語の“怎么”は、連用修飾語として用いられる場合、“你怎么吃？”のように「方式・方法」への質問と、“你怎么还吃？”のように「原因・理由」への質問を表すことができる。その異なった意味機能はどのように区別されているのか、また構造上それぞれどんな特徴を持っているのかについて調べたい

と思う。

“怎么”について呂淑湘主編『現代漢語八百詞』では次のように分類している。

1) 怎么+動。方式を尋ね、動詞は否定形を用いない。

例：这事我该～去跟他说？/他～学会说广州话的？

2) 怎么+動/形。原因を尋ね、「为什么」の意と同じ、動詞も形容詞も否定形を用いてよい。

例：你～来了？/他～这么高兴？

3) 怎么〔+〕+量+名。性状を尋ね、意味は「一+量+什么+名」と同じ。量詞は「个,回」をよく使う。名詞は「人、物、事」が多い。

例：大家都想看看新来的老杨是～一个人？/这是～一回事？

4) 不定を表す。

例：不知道～一来就滑倒了。/你没想出～个解决方法吗？

5) 任意の内容を表す。

例：～让他唱他也不唱。/～修也修不好。

6) 不+怎么+動/形。程度を表し、“很”とほぼ同じ意味だがやや軽い。

“怎么”の働きは“不”の力を弱めることにあり、語調がやわらかくなる。

例：他刚学,还不～会唱。/今天不～舒服。

のように、指示詞“怎么”を原因、理由、性状、不定、任意そして程度の6つに分類している。3)～6)の用法は、1) 2) とかなり異なっているので、今回はそれらを除外して、1) と 2) の用法だけを考察の対象にしたいと思う。以下1)の用法を「方法」、2)の用法を「原因」と略称する。

「方法」は、基本的に動詞述語文を中心に用いられているが、「原因」は、動詞述語文だけでなく、形容詞述語文、名詞述語文などすべての構文に用いられる。従って、形容詞述語文と名詞述語文に現われる“怎么”は基本的に「原因」を表す、のように構文形態別から“怎么”の意味を区別することもできるのである。

1. 方法を表す“怎么”

1.1. “怎么”の基本的な意味

以下は「方法」を表す“怎么”の用例である。

(1) a. 你怎么去学校？

b. 她问我：“我怎么称呼你？”（铁凝：第十二夜）

c. “那你的钱怎么还呢？”（迟子建：亲亲土豆）

d. 他会怎么想，怎么说呢？他受得了这样的精神打击吗？（戴厚英：人啊，人！）

e. “我突然要用休息日，怎么找借口呢？”（池莉：不谈爱情）

以上の例でわかるように、いわゆる「方式・方法」とは、ある行為を成立させるための手段なので、ふつう行為の内部要素の一つと考えられる。例えば“去学校”を例にすると、その行為の成立に主体・目的地・時間・場所・手段・方式・出発点などの多くの要素が関わっているが、その中で「方法」の“怎么”が問うのは主に次の要素である。

(2) 你怎么去学校？

a. 我走着（坐车 / 骑自行车……）去。（手段）

b. 我一个人（和同学一起 / 跟老师一起……）去。（方式）

c. 我从家（从同学家 / 直接……）去。（離脱・経過点）

d. 我硬着头皮（高高兴兴地……）去。（様態）

上の要素がいずれも行為の内包的要素なので、「方法」を問う“怎么”は構文的に動詞の直前に置いて連用修飾語としてしか使うことができない。さらに実際の用例を見てみよう。

(3) a. 去看戏之前我就犯嘀咕：您说，这戏怎么演？谁想到那戏挺棒，

让人看着忍不住乐，品着又忍不住心里发酸。（陈建功：放生）

b. 很后悔，想解释一下。可是怎么解释呢？（戴厚英：人啊，人！）

c. “我的好环环！要是妈妈不在了，你怎么过呢？”我抱着孩子，狂热地吻着，哭着。（戴厚英：人啊，人！）

d. 陈佐千总是在卓云房里过夜，卓云平日的状态就很好，另外的三位

太太观察卓云的时候，毫不掩饰眼睛里的疑点，那么卓云你是怎么伺候老爷过夜的呢，（苏童：妻妾成群）

“怎么”は行為実現への経過的手段を問うので、その行為の発生が事前に予測できるという語用的条件が必要である。また、「方法」は、主体の意志に関わる要素の一つとして、行為が発生する前の段階で、問題として取り上げることが可能なので、未来や未完成の行為、または恒常的な行為に用いられる場合が多い。

一方、完了した行為について「方法」を問う場合もあるが、その場合、主に“是…的”文が用いられるようである。例えば、

- (4) a. 我来不及整理自己的意见，想到就说，所以说得很长。我到底是怎么说的呢？现在已经记不清楚了。（戴厚英：人啊，人！）
b. “嗨，不简单。你怎么知道的？”他笑嘻嘻地问。（戴厚英：人啊，人！）
c. 海鸥问：“那你这桌斋菜是怎么做的呢？”（刘醒龙：暮时课诵）

“是…的”文は、已然行為を前提にして、その行為の成立に関わる諸要素に焦点を当てる「焦点取り立て」説明文なので、「方法」を問う“怎么”には最適な構文形態である。逆に、

- (5) a. 你怎么说了？
b. 你怎么知道了？
c. 你怎么做了？

“是…的”文以外の構文を用いると、行為の成立への疑問に変わるので、「原因」への質問に変化する。

ただし、“是…的”文を用いても完了した行為の方法を問うのではなく、非難する意味を表す例もある。

- (6) a. “你这个系总支书记是怎么当的？这个关都把不好。”（戴厚英：人啊，人！）
b. 颂莲心想这叫什么事儿，小小年纪就会说难听话。天知道卓云是怎么管这姐妹俩的。（苏童：妻妾成群）

c. 榆的母亲说, 王木匠怎么搞的, 把孩子吓成这样, (苏童: 狂奔)
これらは基本的に「方法」から派生した用法だと考えられる。

1.2. 構文上の特徴

1.2.1. 「方法」の“怎么”は、焦点限定型の疑問詞なので、文中の位置がほぼ固定し、通常、自由に移動することはできない。例えば、

(7) a. 你明天怎么去学校? b. 怎么你明天去学校? c. 你怎么明天去学校?

(8) a. 这钱明天怎么还? b. 怎么这钱明天还? c. 这钱怎么明天还?

上の例でわかるように、「方法」の“怎么”は、行為の内部構成要素に質問を向けるので、動詞の直前に置かれる必要がある。例(7)(8)のbとcのように“怎么”の位置を変えると、それぞれ行為の主体、発生時間への質問に変わり、「方法」から「原因」への質問になってしまう。

一方、「介詞連語」の場合は、少し事情が違う。

(9) a. 你在家怎么学? b. 你怎么在家学?

(10) a. 你对他怎么说? b. 你怎么对他说?

例(9)の「場所」を表す介詞連語の場合は、“怎么”の位置を変えると「原因」への質問になる可能性が高いが、文脈によって「方法」を表すこともできる。例(10)の「対象」を表す介詞連語の場合は、“怎么”の位置を変えたら、「原因」への質問になることがあるが、あいかわらず「方法」を表すことが多い。次も「対象」を表す介詞連語の例である。

(11) a. 梁局长苦笑道: 这事情你让我怎么跟人家张嘴啊? (谈歌: 大厂)

b. 出嫁没有? 出了嫁怎么和男人过日子呢? ”爱红一下子发出很大声音来, …… (刘醒龙: 暮时课诵)

c. 我只得支支吾吾: “你妈妈怎么对你说的? 你自己对他有什么印象?” (戴厚英: 人啊, 人!)

上の“怎么”は、いずれも下線部と順序を換えることができるようである。これは対象などの「介詞連語」は動詞と一体となって、意味的、また構文的に一つの動詞連語として機能していることと関係していると思われる。

“怎么”の質問は、もっぱら行為に向けられるので、“怎么+動詞”はふつう述語としてしか働かず、述語以外の成分として働くことができない。しかし、複文（引用文、使役文など）に用いられた場合は、“怎么”は連用修飾語としての機能が基本的に変わらないので、嵌め込み文内部の連用修飾語として動詞と一緒に、述語以外の成分として働くことができる。

- (12) a. 什么叫人道主义呢？我思考着怎么回答。（戴厚英：人啊，人！）
b. 我一点也想不起来。我想听听妈妈怎么说。可是妈妈停了好久都没说话。（戴厚英：人啊，人！）
c. 开冲床其实是非常容易的。张三的师傅教过张三一遍，张三就把怎么开冲床记牢了。（陈村：一天）
d. 诗人的母亲在里面厉声说，又来个疯子，你怎么烧伤的难道自己不知道？怎么还要来问别人？被烧伤的人说，那天我喝醉了。（苏童：烧伤）

1.2.2. 「方式・方法」は行為の一要素と考えられるため、動作行為の直前に置かれている。したがって、「方法」の“怎么”は助動詞や副詞などと併用するとき、その後ろに置かなければならない。

例えば“想 / 要 / 希望”などの助動詞と併用される場合、“怎么”は行為の直前に置かれる。もし助動詞の前に用いられたら、「方法」を問うことができず、動機（原因）への質問に変わる。

- (13) a. 你想怎么去学校？（方法） → 你怎么想去学校？（原因）
b. 你要怎么还钱？（方法） → 你怎么要还钱？（原因）
c. 你打算怎么吃这条鱼？（方法） → 你怎么打算吃这条鱼？（原因）

- (14) a. “雷雷，你扫射小朋友了吗？”“是…”“你知道我要怎么教训你吗？”儿子从未见过父亲这般的威严，怯怯地摇头。（池莉：烦恼人生）（方法）
b. “这真是皇帝不急，急煞太监。你们到底打算怎么办呢？”（戴厚英：人啊，人！）（方法）

ほかの助動詞や副詞と併用する時もその後ろに置かれるのが普通である。その前に用いると、“怎么”の質問焦点が「行為」から離れてその助動詞または副詞に向けられるので、「原因」を問うことになる。次の例を比べてみよう。

(15) a. 我和老张换个位置，我也要这样干的。否则对上对下怎么交代？对作者又怎么交代？（戴厚英：人啊，人!）（=方法）

b. 这也是千真万确的，不是梦。那么，我怎么又活了呢，雁儿又跑到哪里去了呢？（苏童：妻妾成群）（=原因）

(16) a. 这一切，他都了解吗？他会怎么看待我呢？（戴厚英：人啊，人!）（=方法）

b. ……于是在第三天就停止了。但这事老头子怎么会知道？是谁汇报的？（刘震云：一地鸡毛）（=原因）

例 (15) (16) の a は「方法」で、b は「原因」である。

1. 2. 3. “怎么”は「方法」を表す場合、陳述の焦点を絞るため、裸動詞と結びつけて用いられる場合が最も多く、動補構造という形で用いられるのが少ない。例えば、

(17) a. “爸爸，你打算怎么办呢？不准它出版吗？”（戴厚英：人啊，人!）

b. 你去找梁局长了吗？他怎么说？能保出来吗？（谈歌：大厂）

c. 她还是提出了这样的问题。应该怎么回答呢？她希望怎样的回答呢？（戴厚英：人啊，人!）

d. 我自我陶醉了。英雄难过美人关，这在心理学上该怎么解释？（戴厚英：人啊，人!）

e. 但这种事如何上得了台面，如何说得出口？说出口以后在人前怎么站？（刘震云：一地鸡毛）

今回、“怎么”を用いた 690 例を調べたが、「方法」の 276 例中、裸動詞は 221 例（うち目的語を持つものは 54 例）もあり、全体の 80% を占めている。それに対して、「原因」の 414 例中、裸動詞は 66 例（うち目的語を持つもの

は 30 例) で、全体の 16% をしか占めていない。

1.2.4. 「方法」を表す 276 例中、補語を伴う動詞が 30 例ある。例えば、

- (18) a. 他俩究竟是怎么凑成一对的？这早就是团结大楼几十户住家所关注的问题了。(冯骥才：高女人和她的矮丈夫)
b. 侦探说：“华大夫，您怎么认出他来的？”(冯骥才：市井人物)
c. 他吃惊地望着他们。“你们是怎么进来的？”他问。(余华：四月三日事件)

のように、“是…的”文に用いられている例が多い。“是…的”文では“怎么”が「方法」しか問うことができないので、動詞が「動詞+補語(結果・方向)」という形で用いられても“怎么”の機能が変わらないのである。

一方、動作性の強い動詞が「動詞+補語(結果・方向)」という形で用いられても“怎么”が「方法」を表すことがある。例えば

- (19) a. 他们没有票, 怎么进来呢?
b. 你们怎么促成这件事?
c. 他们怎么翻过这座山?

「動詞+得+補語」という形で用いられる可能補語は、行為の可能性、能力を表しながら、動詞自身の機能がまだ残っているので、この場合、“怎么”が「方法」を問うことができる。が、多くは反問文に用いられているようである。例えば、

- (20) a. 我不能把对我有点感情的人都推出去。手底下没有几个得力的人，我在 C 城大学怎么站得住脚？(戴厚英：人啊，人!)
b. 这种极为复杂的因果关系，叫我怎么说得清？我只能沉默。(戴厚英：人啊，人!)

それに対して、様態補語「動詞+得+補語」の場合は動詞の機能が弱くなり、陳述の焦点が補語にあるので、“怎么”は動詞の前に用いられても、方法への質問にならず、補語の状態への質問(原因)になる。例えば、

- (21) a. 他怎么走得那么早。

- b. 她怎么唱得不好。
- c. 我进入“新房”看了看，出来后问三弟：“怎么盖得这么凑凑乎乎？”（梁晓声：父亲）
- d. 只要有可能分到房子，彩电宁可不买。他怎么把这事忘得一干二净了呢？（池莉：烦恼人生）

様態補語“V得A”のAには主として形容詞句が用いられるが、その形容詞句が性質・状態を表しているのので、“怎么”は原因への質問に変わることになる。

様態補語のほか、「程度補語」も「形容詞（状態動詞）+得+補語」という形態を持っているが、その場合の形容詞が強く機能しているのので、“怎么”はふつうその形容詞の連用修飾語として働いている。そのため、“怎么”は基本的に原因を表すことになる。例えば、

- (22) a. 他怎么高兴得唱起来了？
- b. 她怎么激动得说不出话来了？

ただし、様態補語と程度補語の多くは結果状態を表しているもので、“得”の前に置かれる動詞または形容詞は原因となる行為を表す場合が多いので、“怎么”で質問する必要性が低く、使用例も比較的少ないようである。

ところで、“怎么”が形容詞の前に置かれて「方法」を表すように見える例もある。例えば、

- (23) 胡刀懊丧地连连说：“吉喜大妈，这可怎么好，这小东西真不会挑日子，爱莲说感觉身体不对了，挺不过今天了，唉，泪鱼也要来了，这可怎么好，多么不是时候……”（迟子建：逝川）

この場合の“怎么”は、形容詞に直接係っているのではなく“怎么办好”という意味で用いられるので、実質的には動作動詞を修飾する用法である。

2. 原因を表す“怎么”

2.1. 「原因」の意味的特徴

“怎么”はもともと「方法」を表す語句で、「原因」を表す用法は「方法」

からの拡張義で、二次的語義と考えられる。“怎么”が「方法」から「原因」へ分化する理由はいろいろ考えられるが、おおよそ次の5つにまとめられるかと思われる。

1) 「方法」と「原因」は、ともに行為の成立に関与する要素であるが、「方法」は行為が成立するまでの経過的手段を問うのに対して、「原因」は行為の成立自身を問うのである。例えば、

(24) a. 谢跃进猛地回过头来、惊讶地张大了嘴：你怎么来了？（谈歌：大厂）

b. 颂莲一扭身离开了是非之地，她往后花园去，路上碰到飞浦和他的一班朋友，飞浦问，你怎么走了？颂莲摸摸自己的额头，说，我头疼。（苏童：妻妾成群）

c. 你怎么喝起酒来了，借酒浇愁吗？愁是酒能消得掉的吗？（苏童：妻妾成群）

例(24)のa～cはいずれも、行為の成立自身を問う表現なので、「どうしてそんなことになったのか」という原因への質問になる。このタイプの質問が已然行為に向けられる場合が多いようであるが、すでに成立した行為について、経過的手段よりもその行為自身に疑問を抱く場合が多いということに関係するかもしれない。

2) 否定など不成立行為への質問は、行為成立の手段を問うこと自体ナンセンスなので、常に「原因」への質問になる。例えば、

(25) a. 飞浦说，咦，你怎么不吃？颂莲说，我已经饱了。（苏童：妻妾成群）

b. 颂莲见他半天不开口，吓唬笑了，你葫芦里卖的什么药，怎么不说话？（苏童：妻妾成群）

c. 奇怪、平时记得很熟的问题、怎么一下子想不起来了？（戴厚英：人啊，人！）

- d. 我是专程来见你的。你下午怎么没来呢？下午我准备请你吃饭，好好谈谈的。”（池莉：午夜起舞）

3) 「方法」には動作者の意志でコントロールできる主観的要素が含まれるが、「原因」には主観的動機と客観的条件との二つの要素が含まれている。そのため、主観的要素が入る余地のない事件・事態の発生について“怎么”が用いられた場合、すべて「原因」を表すことになる。例えば、

- (26) a. 他突然发现贺玉梅脸黄黄的，惊问道：你脸色怎么这么难看啊？病了？（谈歌：大厂）
b. 可我心里却觉得受了莫大的委屈，我并没有说傻娥什么，她却犯了病，她怎么这么娇气？（迟子建：原始风景）
c. “有小孩了吗？”“天，你怎么变得婆婆妈妈了。要小孩干嘛？”（池莉：不谈爱情）
d. 当天夜里，老婆孩子入睡，小林第一次流下了泪，还在漆黑的夜里扇了自己一耳光：“你怎么这么没本事，你怎么这么不会混！”（刘震云：一地鸡毛）

このタイプの文では、形容詞述語が用いられる場合が多いが、c, dのように動詞述語が用いられる例もある。特に、主体の意志でコントロールできない状態や動作を表す動詞述語文における“怎么”がほとんど原因を表している。例えば、

- (27) a. 他说，你怎么哭了？（苏童：告诉他们，我乘白鹤去了）
b. “血！”我惊叫、“二姨你怎么出血了？”（迟子建：原始风景）
c. 我够福的、怎么总碰上漂亮的男人呢。不过，跟漂亮的男人打交道，你总免不了要犯蠢。（皮皮：异邦）
d. 怎么下雨了？

例 d のように、自然現象についてその発生の「方法」を問うこと自体が少ないので、特別の場合を除けば“怎么”が「原因」を表している。

また、予期できない、或いは常識ではあり得ないようなことが実際発生した

場合、「怎么」が原因を表すことになる。

- (28) a. 颂莲把那些衣服腾空了，也没有见那管长萧。她明明记得离家时把萧放进箱底的，怎么会没有了呢？（苏童：妻妾成群）
- b. 他是我的“启蒙”老师，是他把我引上文学的道路的。如今怎么卖西瓜了？（戴厚英：人啊，人！）
- c. 人们普遍认为梅珊之死合情合理，奸夫淫妇从来没有好下场。但是好端端的年轻文静的四太太颂莲怎么就疯了呢，（苏童：妻妾成群）

4) 「動機」も「原因」の一つである。「動機」と「方法」はともに動作者の主観的要素を伴う点で共通しているが、「動機」は行為主体の意図や目的を表す点で「方法」と異なる。実際の表現において「方法」はいかにしてその行為を成立させるかという側面を問うのに対して、「動機」は、その方法・時間・対象・場所及び行為自身を選択した理由を問うのである。例えば、

- (29) a. 我想趁别人不在，收拾塔治这个小东西。我怎么就不想看大道的信呢？（皮皮：异邦）
- b. 我抬头看看妈妈，她坐在床上，两眼怔怔地望着前面，好像很伤心，又好像很吃惊。“你怎么说出这样的话？谁教你这样说的？”（戴厚英：人啊，人！）
- c. 我让你们别吵、怎么还在这儿吵？白鹤会被你们吓跑的。（苏童：告诉他们，我乘白鹤去了）
- d. 今天，她怎么上午来了？难道知道我生病了？（戴厚英：人啊，人！）
- e. 这时候她想起了陈佐千和生日这些概念，心里对自己的行为不免后悔起来。她自责地想我怎么一味地耍起小性子来了？（苏童：妻妾成群）

a～b はそのような行為を取った動機に関する質問であり、c、d、e は「場所」と「時間」と「方法」を選んだ動機を問う質問である。その理由で“想、

要、希望、会”などの助動詞の前に用いられる“怎么”がいずれもその動作者の意図や目的を聞いているので、動機に近い「原因」の質問になる。

5) また、次のように、なぜその手段や方法・方式を選んだ理由を問う“怎么”も主に「原因」を表している。例えば、

(30) a. 你怎么坐车去?

b. 你怎么用钢笔写字?

c. 我奇怪这么小的孩子怎么一个人跑来这园子里?(史铁生:我与地坛)

d. 他怎么就不声不响地知道并且与国际小母牛基金会挂了钩了。(池莉:午夜起舞)

e. “我不! 她怎么一天三顿天天跟着吃?” 傻娥说这话时带着哭腔(迟子建:原始风景)

f. 真糟! 我怎么说出这样的话来了? 怎么一下子就丧失了警惕、拆除了防线呢?(戴厚英:人啊, 人!)

g. 今天坐在我面前的是他吗? “你怎么还有脸来找我?” 我放肆地嘲笑他了。(戴厚英:人啊, 人!)

2.2. 「原因」を表す“怎么”の構文上の特徴

「方法」と「原因」は、両方とも連用修飾語として用いられるので、その構造と機能上の類似性が両方の意味を可能にしている。実際、「方法」と「原因」を同じ語句で表すのが多くの言語に普遍的に見られる現象で、英語の how と日本語の「どうして、なんで」などがその例である。

しかし、“怎么”は一旦二つの意味に分化した上、その意味上の違いが当然形態の上にも現れ、構文上の違いを作り出している。

朱徳熙(1982)では、「原因」を問う文では、“怎么”を主語の前に置くことも、主語の後に置くこともできる。例えば、“你怎么不说话?”と“怎么你不说话?”の両方が可能である。それに対して、「方法」を問う文では“怎么”を主

語の前に置くことはできない。従って“你怎么回答?”を“怎么你回答?”に言い換えることができない。また、「方法」を問う場合、発音のストレスは“怎么”にあるが、「原因」を問う場合は、ストレスは“怎么”の後の語句にある(p92)。

前に述べたように、「方法」を表す“怎么”は直接、行為へ向けられるので、連用修飾語として動詞の直前にしか置かれない。それに対して、「原因」を表す場合は、その行為の成立、またはその行為に関わる諸要素に質問を向けるので、文中の位置が固定されず、基本的に疑問とされる要素の前に置かれるが、文の先頭に置かれることもあり得る。例えば、

- (31) a. 怎么他去? (行為全体への疑問または主体への疑問)
- b. 他怎么不去? (不成立行為への疑問)
- c. 他怎么现在去? (時間要素への疑問)
- d. 他怎么走着去? (方法への疑問)
- e. 他怎么敢去? (主体の主観条件への疑問)
- f. 他怎么会去? (可能性への疑問)
- g. 他怎么去得了? (客観条件への疑問)
- h. 他怎么一个人去? (方式への疑問)

ただし、目的語に当たる要素に疑問を抱く場合、構文上“怎么”を目的語の前に置くことができないので、動詞の前に置くことになる。例えば、

- (32) a. 你怎么去英国? (不去美国)
- d. 你怎么吃面条? (不吃米饭)

その場合、「方法」との違いは、前後文脈の中でまたは発音のストレスの置くところによって表されている。

朱徳熙(1982)が指摘したように、方法を問う“怎么”に発音のストレスが置かれるが、原因を問う“怎么”にはストレスが置かれない。それは、「方法」は時間、場所などと同じように、それ自身が問われているので、“誰、在哪里、什么时候……”などの疑問詞と同じように、疑問詞がストレスの置かれるところになる。それに対して、原因を問う“怎么”は、行為またはその行為

に関わる諸要素に対して疑問を向けるので、疑問となった部分がストレスの置かれるところになる。

また、「焦点の取り立て」を表す“是”は、「方法」を問う“怎么”の前に置くことができるが、「原因」を問う“怎么”の前に置く例が少ない。“方法”の“怎么”は質問の焦点に当たるのに対して、「原因」の“怎么”は“怎么”の前後にある疑問とされる箇所に焦点を当てるといった異なった意味機能が働いているからである。例えば、

(33) a. 这件事你怎么看? (方法) → 这件事你是怎么看?

b. 他每天怎么去学校? (方法) → 他每天是怎么去学校?

c. 我怎么不知道? (原因) → ? 我是怎么不知道?

d. 怎么他没来? (原因) → ? 是怎么他没来

a、bは「方法」を表すので“是”がつけられるが、c、dは「原因」を表すので“是”は付けられないのである。

3. 両者の曖昧さ

「方法」を表す“怎么”と「原因」を表す“怎么”はともに反語を表すことができる。例えば「方法」の例として、

(34) a. “睡! 电灯亮刺刺的怎么睡?” 印家厚忍无可忍了, 正要恶声恶气地回敬她一下, 却想起灯绳让自己扯断了。(池莉: 烦恼人生)

b. 别人不诚实可以, 连医生都这么不诚实了, 这还叫人怎么活? 一次孩子拉稀, 看下来硬是要了七十五。(刘震云: 一地鸡毛)

次は「原因」の例である。

(35) a. “怎么不行? 你见过写大字描红吗? (毕淑敏: 捉刀)

b. “这就奇了! 总共一上午才六个人, 怎么会记不住? (冯骥才: 市井人物)

上の例では、「方法」と「原因」が比較的区別できるが、次のように、前後関係によって区別しなければならない例もある。

(36) “这是个复杂的社会问题, 你太小怎么理解得了呢?” (池莉: 烦恼

人生)

A: 若いお前はどう理解しようとしても無理だ (方法)

B: (わたしたちでさえ理解できないのだから) 若いお前はなぜ理解できるのか? (原因)

「方法」と「原因」は、共に行為の成立に関わる要素として、その区別がかなり曖昧な場合がある。それは、ある事柄を結果達成するための手段と見ることもできるが、結果達成の原因と見ることも可能だからである。例えば、

(37) a. 他怎么死了? (原因) —— 食物中毒。

b. 他怎么死的? (方法) —— 食物中毒。

のように、質問の意図が異なっても、答えが同じでよい場合もある。

“怎么”は行為成立するまでの経緯を聞く場合と、きっかけや原因を聞く場合がある。実際の会話ではその二つの区別も非常に曖昧で、ほとんど区別できない場合もある。

(38) 岳秀秀说了要车的事, 门县长笑道: 你怎么管这事啊? (谈歌: 大厂)

A: どんな方法でこのことを処理したいのか?

B: なぜこんなめんどくさいことにかかわりたいのか?

のように、ある一定の文脈条件下でも「方法」と「原因」を区別するのが難しい場合がある。

4. おわりに

以上、“怎么”について簡単に調べたが、「方法」を問う“怎么”と「原因」を問う“怎么”はそれぞれ異なった意味と構文上の特徴を持っている。その違いは主に次のようである。

1) 「方法」の“怎么”は、ある行為を成立させるための手段に質問焦点を当てているが、未来・未完成の行為の手段を問う場合は、「怎么+述語動詞」を用い、完了した行為の手段を問う場合は、“是+怎么+述語動詞+的”を用いる。「方法」の“怎么”において、述語動詞は裸動詞が多く(80%)、補語

の使用がある程度制限される。そして、否定形は用いない。それに対して、「原因」の“怎么”は主に既定した行為自身に疑問を向けている。「原因」の“怎么”における述語動詞の形態や補語使用などについて特に制限はなく、また否定形も用いられる。

2) 「方法」の“怎么”には動作者の意志でコントロールできる要素を伴うのに対して、「原因」の“怎么”には主観的動機と客観的条件の二つの要素を伴っている。そのため、主観的要素を伴わない論理や状態を表す名詞述語文や形容詞文に「原因」の“怎么”は用いられるが、「方法」の“怎么”は用いられない。

3) 「方法」の“怎么”は文中の位置の移動が不自由で、「介詞連語」を除いて必ず述語動詞の直前に置かれるが、「原因」の“怎么”はその制限はなく、基本的に疑問とされる要素の前に置かれるが、文頭に置かれることもある。また、助動詞や副詞などと併用される場合、「方法」の“怎么”は必ずその後ろに置かれるが、「原因」の“怎么”はその前に置かれる。

4) 「原因」の“怎么”と「方法」の“怎么”は、構造と意味上のつながりを持っているので、はっきり分けられない場合もあるが、実際の表現では、前後の文脈や発音のストレスなどでそれを区別しているのである。

参考文献:

朱 德熙 (1982) 『语法讲义』 商務印書館

呂 淑湘 (1984) 『现代汉语八百词』 商務印書館 (日本語訳については牛島徳次監訳『中国語用例辞典』 東方書店 (1992) を参照)

刘月华等 (2001) 『实用现代汉语语法 (增订本)』 商務印書館

沈 阳等 (2001) 『生成语法理论与汉语语法研究』 黑龙江教育出版社

张 斌等 (2002) 『语气词与语气系统』 安徽教育出版社

大島吉郎 (2003) 「“怎么” の意味分析」 『語学教育研究論叢』 第 20 号, 大東文
化大学語学教育研究所

杨 德峰 (2004) 『汉语的结构和句子研究』 教育科学出版社